

## 「生活科・領域」（買い物しよう）学習指導案

T 1 渡邊 俊介（作成者）  
T 2 堀内 麻美  
T 2 奥野 涼風

1. 日時 令和6年9月17日（火） 第5時限（13:20～14:10）
2. 場所 第4学年1組 教室
3. 学部・学年・組 小学部 第4学年（1、2組） 9名
4. 単元（題材）名 「買い物しよう」
5. 単元（題材）目標

- ・買い物をするときのマナーについて知り、マナーを守って買い物ができる。（知・技）
- ・お金を払ったり商品を受け渡ししたりして、レジでの支払いのやりとりができる。（知・技）
- ・見たり食べたりしたお菓子の中から、自分が買う物を選ぶことができる。（思・判・表）
- ・主担者の説明や友だちの活動を見聞きする。（学・人）
- ・教員や友だちと手を繋いで、安全に歩く。（学・人）

### 6. 児童生徒観

本学年は男子13名、女子7名で計20名の児童が在籍する学年である。児童の障がいの程度や実態に幅があり、和泉支援学校小学部 KIDS（乳幼児発達スケール）の理解言語の領域においては0歳8か月～5歳10か月の児童が在籍している。他にも身体障害者手帳を有する児童や、食物アレルギーがある児童もいる。

コミュニケーションについても実態は様々である。日常生活での会話ができる児童もいれば、他には音声言語と写真・絵カードを併せて使用する児童もいたり、教員からの簡単な言葉かけや呼名に対して行動やジェスチャーで応じることができるが、音声言語でのやり取りは難しく、写真・絵カードや簡単なジェスチャーを使用したコミュニケーションを主とする児童もいたりする。

その他の実態については、初めての場所や活動で見通しが持てないと気持ちが不安定になったり、活動に参加することが難しくなったりする児童が多いため、様々な教科において繰り返し取り組むことができる教材を選定している。そうすることで落ち着いて取り組めたり、自発的に参加できるようになったりすることが多い。また、こだわりが強い児童や、自分の思いと違うことを要求されると気持ちが不安定になったり、苛立ったり、場合によっては他害に及ぶ児童もいるため、日常的に配慮を要したり、気持ちに寄り添ったりする必要がある。

買い物学習については入学してから4年生になって初めて取り組む学習で、放課後等デイサービスや家庭で出かけた際などに経験している児童もいると思われるが、買い物についてのマナーや支払いのやり取り、またお金の扱いに関してはまだまだ不慣れな児童が多い。

### 7. 教材観

第1時と第4時の買いたいお菓子を選択する学習では、購入する候補となる4種類のお菓子を食した上で、その中から買う物を選択して決定する。児童の中には自分が望むもの（こと）を選択し、はっきりと意思表示することが難しい児童もいるため、児童が好きなお菓子を題材とすることで自主性を引き出し、自分で意思表示をするきっかけとなることが期待できる。

マナーの学習では、テレビやタブレットを使用して学習内容を提示する。日頃の授業でもテレビやタブレットを使用して手順や工程を説明したり、映像を見たりすることはよくあり、多くの児童がテレビの画面に注目する習慣がついている。

買い物ごっこでは、児童ができる限り実際の店舗をイメージして活動できるようにしたい。そのため、

教室内の雰囲気を実際の店舗の雰囲気に近づけられるよう、本物のレジに近い物を用意したり、店員役の教員は言葉遣いや立ち振る舞いも実際の店員に似せたりする。児童にはその雰囲気を肌で味わい、ごっこ遊びに楽しんで取り組みつつ、買い物に必要な力を身につけてほしい。

## 8. 指導観

単元全体の流れや展開については、児童生徒観でも述べた通り、本学年の児童には繰り返し取り組むことが有効であるため、本単元でも「①買う物(お菓子)を選ぶ」→「②買い物ごっこ遊び」→「③実際の買い物」という流れの学習内容を2回繰り返して取り組むこととした。

授業の体制において、買う物を選ぶ学習と買い物ごっこでは、児童一人ひとりが考えたり活動したりする時間を十分に確保したいので、学年児童20名を2グループに分けて、人数を分散して行う。

第1時と4時の買う物を選ぶ学習では、4種類のお菓子を実際に食べてみて買う物を選ぶ。しかし、その4種類のお菓子はそれぞれの児童にとって知っているお菓子や好きなお菓子、また食べたことがないお菓子や見たこともないお菓子であったりする。なので、児童によっては提示された時点で「これを買おう」と決めていたり、決めるのに悩んで時間がかかったり、食べなかったりする物もあるかもしれない。それらのどんな姿や対応も、意思表示の1つとして受け止め、認めていきたいと考える。

本時の買い物ごっこの導入では、買い物をするときのマナーについての学習をする。本学年の児童は校外学習等で公共の場所での活動に取り組んだことはあるが、まだ経験が不十分であるため、事前に公共の場でのマナーについて伝えて、児童が実際に買い物をする際にはマナーを守って買い物ができるようにしたい。展開②の買い物ごっこでは、支払いを含む買物の一連の流れを実際に体験しながら学習できるようにしたい。自分で買い物をすることに不慣れな児童が多いため、支払いのやりとりなどに手間取ったり時間がかかったりすることが予想されるが、教員はそれを見守り、必要であればもちろん助言をしたり助けたりするが、まずはその場でどうしたらいいかは児童自身が考えて、体験しながら買い物に必要な力を身につけてほしい。

また、本学年では金銭を扱う学習は初めてであり、実際にお金を支払う経験が不十分な児童が多数を占める。そのため、本単元では支払い時のお金のやり取りや商品の受け渡しなどの一連の流れや動作を学習し、身につけることに焦点を当てるために、支払い時には購入する商品の種類に関係なく、全員が「200円を払ってお釣りをもらう」こととした。

## 9. 単元(題材)の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① マナーを守って買い物をすることができている。 ② レジでの支払いや、商品の受け渡しをすることができている。	① 見たり食べたりしたお菓子の中から、買いたい物を自分で選び、伝えることができている。	① 教員の説明や友だちの活動を見聞きしようとしている。 ② 教員や友だちと手を繋いで、安全に歩こうとしている。

10. 単元の指導と評価の計画（全6時間、本時は第5時）

次	時	学習内容・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1次(第1～3時)、 2次(第4～6時)	1・4	「好きなお菓子を選ぼう」 ・4種類のお菓子を実際に食べて、自分が買うお菓子を選ぶ。 ・選んだお菓子と共に写真を撮る。	・食物アレルギーがある児童がいるため、喫食に際しては事前に保護者の同意をもらう。 ・児童本人が選んだお菓子を後で確認できるように、選んだお菓子と共に写真を撮って残しておく。 ・お菓子の種類は第1～3時と第4～6時で、別の4種類に変える。	B① C① (観察)
	2・5	「買い物ごっこをしよう」 ・買い物のマナー等について知る。 ・自分で決めたお菓子を選ぶ。 ・レジでお金を払って、お菓子を購入する。	・マナーについて理解できているかどうか、質問等して確認しながら進行する。 ・実際のコンビニでの買い物を意識できるように、商品を並べる棚やレジ周りの環境設定を工夫する。 ・支払い時のやりとりはなるべく児童自身で行えるように、見守ったり言葉がけをしたりする。	A① A② C① (観察)
	3・6	「買い物をしよう」 ・最寄りのコンビニまで(帰りは学校まで)友だちや教員と手を繋いで歩く。 ・マナーを守って買い物をする。	・待機時の暑さ対策として、団扇やハンディの扇風機、保冷剤等を用意する。 ・歩行時や待機時の安全確保に努める。 ・店内で他の利用者の迷惑にならないよう配慮する。	A① A② C② (観察)

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・買い物をするときのマナーについて知り、マナーを守って買い物ごっこができる。
- ・支払いのやりとりができる。
- ・教員の説明や友だちの活動を見聞きする。

(2) 本時の評価規準

- ・買い物をするときのマナーを守ろうとしている。(A①)
- ・レジでの支払いのやりとりをしている。(A②)
- ・教員の説明や友だちの活動を見聞きしようとしている。(C①)

(3) 本時の ICT 活用のポイント (活用のねらい、工夫する点)

- ・タブレット(Keynote スライド)やテレビを使って、買い物のマナーや仕方について提示する。  
【ねらい】 買い物のマナーや仕方について視覚的に示し、児童が理解できるようにする。  
【工夫する点】 内容や伝えたいことを端的に示せるように、画面の構成をシンプルにする。  
・様々な実態の児童に伝わるように、文字だけでなくイラストや動画を交えて提示する。

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
5分 導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめのあいさつをする。</li> <li>・本時の活動の流れを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主担者に注目できるように、言葉がけ等で促す。</li> <li>・本時の活動の流れがわかりやすいよう、視覚支援教材を用いて示す。</li> </ul>	C①(観察)
10分 展開 ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビでスライドを見て、買い物に行く日やマナーについて知る。</li> <li>・動画を見て、買い物の仕方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビが見えるように、必要に応じて座席の位置を調整する。</li> <li>・テレビに注目できるように、言葉がけ等して促す。</li> <li>・買い物のマナー等について適宜質問し、理解を促す。</li> <li>・買い物の仕方について、重要なポイントは動画を停止したりして、重点的に説明する。</li> </ul>	C①(観察)
30分 展開 ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金が入った財布と、ビニール袋を受け取る。</li> <li>・財布に200円(100円玉×2枚)が入っていることを確認する。</li> <li>・自分が買うものを、イラストを見て確認する。</li> <li>・買い物ごっこをするグループと順番を知る。</li> <li>・グループごとに買い物ごっこをする。</li> <li>・買い物が終わったら席に座る。</li> <li>・グループの全員が買い物ごっこを終えて席に着いたら、買った商品と財布を教員に返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニール袋をポケットに入れるよう促す。</li> <li>・(ST)近くにいる児童と一緒に、財布の中に200円(100円玉×2枚)が入っていることを確認する。</li> <li>・(ST)児童と一緒に財布に貼られたイラストを見て、買う物を確認するよう促す。</li> <li>・グループと順番を写真カードで示す。</li> <li>・(ST)児童が買う物を正しく選べるように、言葉がけ等で促す。</li> <li>・(ST)児童が順番にレジに行けるよう、足元のマークの上に立って、並んで待つように促す。</li> <li>・児童がレジで支払いや商品の受け渡しができるように、見守ったり言葉がけしたりする。</li> <li>・待機児童が静かに待ったり、他の友だちの活動を見たりできるように、言葉がけ等して促す。</li> </ul>	A① A② C① (観察)
5分 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物ごっこができたことを振り返る。</li> <li>・次回買い物に行く日程を再確認する。</li> <li>・終わりのあいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物のマナーが守れていたか、支払いがうまくできていたか等を振り返る。</li> <li>・買い物の日程を示す。</li> <li>・数名の児童にあいさつ後の片付けを依頼し、あいさつをして終わる。</li> </ul>	C①(観察)

(5) 児童生徒の実態と本時の目標  
※省略※

(6) 教室配置等（買い物ごっこ時）

## わんぱく広場

